



和歌山大学観光学会 第2回大会

和歌山大学観光学会では、下記の通り第2回大会を開催いたします。

第1部では本学大学院観光学研究科生による修士論文報告および2012年度観光学部卒業（修士）論文賞受賞者による発表、さらに第2部では、観光教育・研究分野で世界のリーダーとされるイギリス・サリー大学観光・ホスピタリティマネジメント学部長のグレアム・ミラー教授による特別講演が行われます。

事前の参加申込は不要です。会員のほか、一般の方の参加も歓迎いたします。

多くの皆様のご来聴をお待ちしております。

2013年

3月25日（月）9時10分～16時（予定）

会場：和歌山大学観光学部棟 T-101 教室

[第1部：9時10分～13時45分]

- ◆ 2012年度 和歌山大学大学院観光学研究科 修士論文報告（M2成果発表）
- ◆ 2012年度 和歌山大学大学院観光学研究科 プレ修士論文報告（M1中間発表）
- ◆ 2012年度 和歌山大学観光学部卒業（修士）論文賞受賞者による口頭発表

[第2部：14時～16時（予定）]

◆ 特別講演

「イギリスにおける観光研究」

講師 グレアム・ミラー 教授

サリー大学 観光・ホスピタリティマネジメント学部長

※ 講演は英語で行われます。質疑応答には通訳がつきます。

[お問い合わせ先]

和歌山大学観光学会事務局

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 和歌山大学観光学部研究棟 2階 208室
TEL / FAX 073-457-8553 E-mail tourism-er@center.wakayama-u.ac.jp
URL http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/tourism_studies.html

主催：和歌山大学観光学会

共催：和歌山大学観光学部

〔講師紹介〕



グレアム・ミラー教授 (Prof. Graham Miller)

サリー大学 観光・ホスピタリティマネジメント学部長

サリー大学 観光・ホスピタリティマネジメント学部・研究科は、40年の歴史を誇っており、ヨーロッパで第一の評価を受けています。ミラー教授は、サステナブルツーリズムを専門とし、現在、欧州委員会企業産業事務局の助成により、destinationサステナビリティの評価方法、アクセシブル(バリアフリー)ツーリズムに関する研究を行っています。また、ソーシャルツーリズムの可能性、(ヨーロッパにおける)ツーリズムのバリアフリー化、サステナブルツーリズムについての市民意識に関するKTパートナーシップなど数多くの研究プロジェクトに関わってきました。このほか、World Travel & Tourism Council (WTTC) による Tourism for Tomorrow のジャッジ、ガーディアン紙による「グリーントラベルリスト」(2010, 2011)の編集にも携わっています。

〔発表者一覧(第1部)〕

◆ 2012年度 和歌山大学大学院観光学研究科 修士論文報告 (M2 成果発表)

川元 美咲「あまみシマ博覧会にみる観光と地域の関係性」

胡 暁輝「ツアー添乗員の労働時間問題についての考察」

竹田 茉耶「まちづくりにおける協働の広がりに関する一考察

—和歌山県海南市黒江の景観づくりサポーター制度を事例に—

西川 昌克「日本における音風景の歴史的変遷に関する一考察～戦後商業空間を中心に～」

米田 晶「観光を手段とした地域振興に関する理論的・実証的研究」

◆ 2012年度 和歌山大学大学院観光学研究科 プレ修士論文報告 (M1 中間発表)

勝野 奏「どのように土木構造物は観光資源になりえるのか。」

チヨ 禎敏「自然地域における観光資源の保全・維持に関する研究

—住民参加から期待される波及効果の側面を中心に—

新田 有沙「景観まちづくりと人びとの空間認識に関する研究 和歌山県海南市黒江において」

細川 直透「組織間協力の視点から考える商店街活性化」

吉田 将義「登録博物館及び博物館相当施設におけるインバウンド観光に対する現状」

李 智偉「コンテンツ産業が観光行動にもたらすインパクトについて」

林 娯庭「社会性からみる観光と写真撮影」

◆ 2012年度 和歌山大学観光学部卒業(修士)論文賞受賞者による口頭発表

〔優秀卒業論文賞〕 碓間 晴香「耳掛け式小型カメラを使用したドーム映像の視聴実験」